

アブラナ科 イヌガラシ属

スカシタゴボウ (透かし田牛蒡)

Rorippa palustris (L.) Besser

自生環境

湿地、荒地、水田 など

原産地

日本在来

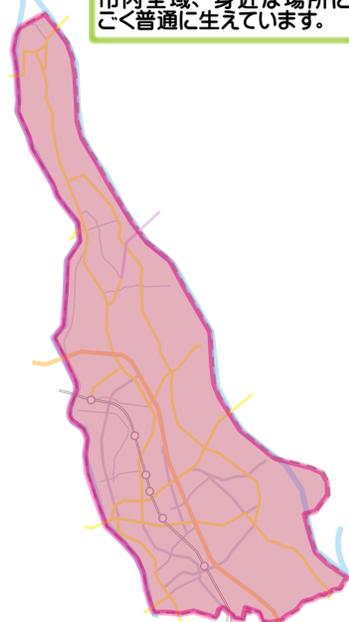
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通に、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、身近な場所にごく普通に生えています。



特徴

- ☆ 身近な場所にごく普通に生えている1~越年草です。湿った場所を好みますが、乾燥にも強いため、道ばたや畑地など土が乾燥しているところでもよく見かけます。増える力がとても強く、タネの他に、ちぎれた根茎からも繁殖可能です。
- ☆ 茎は花が咲くと一気にのび、枝分かれを繰り返しながら30~50cm くらいの高さになります。花は茎の先端付近にかたまって咲きます。花が咲き進むにつれ、果実の穂がどんどん長くなっていき目立つようになります。果実は楕円形で、果実の長さと同程度の長さです。
- ☆ スカシタゴボウは変異が大きく、いくつかの品種や変種が知られています。葉のかたちにもかなり変化があります。市内では葉が切れ込むタイプが主流ですが、葉の切れ込みがほとんどない株もたまに見られます。

イヌガラシとよく交雑する

スカシタゴボウは、イヌガラシと同じような環境に生え、よくいっしょに生えています。そのこともあり、しばしば交雑してヒメイヌガラシという雑種をつくれます。ヒメイヌガラシは一見するとスカシタゴボウのようですが、花が咲き進むにつれ穂がどんどん長くなり、間延びしたような感じになります。また果実は膨らまずに痕跡状となりタネができません。ヒメイヌガラシは市内でも比較的よく見られます。



花びら

花は黄色でイヌガラシより小さい

がく



葉の切れ込みが浅い株もある



市内では葉が深く切れ込むタイプが多い



果実は果柄より短いかわり、同じくらいの長さ

かへい 果柄

かじつ 果実



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

